誠之の教育

１２月号（第６２３号）

令和４年１１月３０日発行

３Ｒから５Ｒへ

校長　　宍戸　敏和

SDGsについて知ることは、世界の現実について知ることと同じです。本校でも高学年を中心に、SDGsについて学習を深めています。「持続可能な社会」に向けて、一人一人が考えていかなければならない大きな問題です。「貧困に苦しむ人がいる。」「学校に通えない子供がいる。」「このまま地球温暖化が進めば、いずれ人が住めない環境になってしまう。」など、普段の生活からは考えることがない世界の問題へ目を向けることができます。環境問題やジェンダー問題など、「自分が一つの行動を起こすことで、社会全体を変えることができる。」というように、自分と社会のつながりを感じられます。

さて、環境問題への身近な取組として、ごみを減らすための実践があります。これまでの３Ｒの行動は、よく知られています。

・Reduce	(リデュース)	ごみ自体を減らすこと
・Reuse	(リユース)	何回も繰り返し使うこと
・Recycle	(リサイクル)	形を変えてもう一度使うこと

一人一人が資源の大切さを理解してものを使うことを呼び掛けています。そして、さらに発展した５Ｒという取組があるのです。上記３Ｒに次の二つが加わります。

・Refuse	（リフューズ）	ごみになるものをもらわないこと
・Repair	(リペア)	修理して長く使うこと

すでに実践していることと思いますが、リフューズは、買い物の際、エコバッグを使って、レジ袋を断ることが挙げられます。リペアは、ものが故障したら、修理して長く使うといった行動です。

日常の何気ない行動が大切なのは言うまでもありません。最近は、コロナ感染症の影響で、使い捨てせざるを得ないものもありますが、３Ｒや５Ｒを意識して、見直すことも必要なことでしょう。子供は大人の行動を見て成長します。こうした環境に配慮した行動は、すぐに実践できます。そして、これからもずっと続けていくべきことなのです。今の子供たちが大人になり、さらにその先の世代でも、安心して住み続けられる地球環境を作っていかなければなりません。一人一人の日常の行動を大切にしていきたいですね。

ＧＩＧＡスクール構想を受けての本校の学習

情報教育推進リーダー　　樋口　諒

文部科学省が進める施策である「GIGA スクール構想」は、１人１台の端末と高速大容量の通信ネットワークを整備することで、子供たちの学びを個別最適化し、多様な資質・能力を確実に育成することを目的としています。この ICT 環境の整備は、新型コロナウィルス感染症の流行と新たな生活様式により、多くの自治体で急ぎ行われました。文京区でも、昨年度より児童に１人１台タブレットが貸与され、学習活動での活用を行っています。

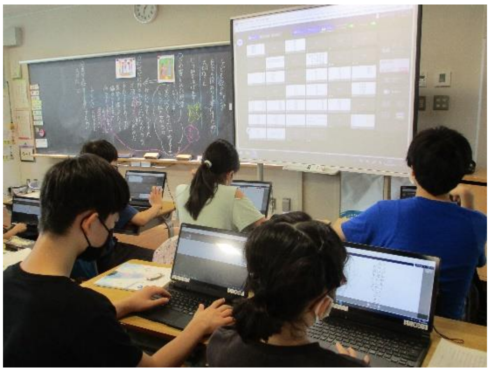
１人１台タブレット PC を持つことで可能になったこと

これまでも、学校にはパソコンがあり、学習に活用されてきました。何かを調べるときやプログラミング学習のときに使われることが多かったです。では、１人１台タブレット PC を持つことでどのようなことが可能なのでしょうか。

例えば、日常的にすぐ活用することができます。分からないことや気になることがあったとき、すぐにその場で調べることができます。インターネットを使って調べることで、早く簡単に情報を手に入れることができ、その良さを生かした授業を行うことができます。

右の写真は、国語科の学習の様子です。文京区図書館のホームページを検索し、利用案内やデジタルパンフレットを閲覧しています。紙のパンフレットと見比べ、それぞれの特徴や良さについて考えています。

また、学習のまとめでは、文章作成ソフトやプレゼンテーションソフトをノートやプリントの代わりとして活用することがあります。さらには、漢字の練習や計算問題などもタブレット PC で行うことができ、読み書きが苦手な児童でも、自分に合った学習の仕方で理解を深めたり考えを広げたりできるのです。



その他にも、自分の考えと友達の意見を比較したり、一緒に編集したりすることで、発言や聞くことが苦手な児童も皆で学習して理解を深めることができます。左の写真は、道徳科の学習の様子です。自分の考えをタブレット PC でまとめ、閲覧スペースに送ることで互いの意見を共有しています。考えだけでなく、写真や動画を撮影して共有したり、作成したファイルなどを送り合ったりもできます。従来の授業では方法が限られていたことも、タブレット PC の活用により教え方や学び方に広がりができました。

本校でも情報機器を活用した学習活動や家庭学習を児童の実態に応じて行っています。しかし、読み書きやアナログの良さもありますので、それぞれの良さを生かし、より充実した学習活動を行っていきたいと考えております。また、情報機器を扱う上で、約束や気を付けなければならないことも指導しています。御家庭でもぜひ、使用上の約束や情報を適切に判断することの大切さなど、定期的に話し合っていただければと思います。

誠之小学校の委員会活動

委員会活動では、5・6年生の児童が11の委員会に分かれて様々な活動をし、学校生活を支えています。学校全体のことに取り組んでいる高学年の姿勢は、下級生にとってよい手本となり、伝統として引き継がれていきます。

計画委員会

6年1組

計画委員会では、運動会など学校行事のスローガンを作ったり、学校をよりよくするための注意書きのポスターなどを作ったりしています。学校がよりよくなるように活動を進めています。

図書委員会

6年3組

図書委員会では、金曜日を除く平日の休み時間に本の貸し出しや返却、本を探している人と一緒に本探しをしています。これからも、たくさんの人に本を読んでもらうためにおすすめの本の紹介をします。

保健委員会

6年1組

保健委員会では、水質検査や生活習慣に関するアンケート調査などを行っています。アンケートの結果を発表し、正しい生活習慣を伝え、全校のみんながよりよい生活を送れるように活動しています。

掲示委員会

6年2組

学校中を明るくするために、季節を感じられるような作品を作って、昇降口や各フロアを飾っています。掲示委員会で協力して、コロナ禍でもみんなが楽しく生活できるように、工夫して掲示しています。

集会委員会

6年1組

集会委員会では、全学年が喜べるような企画を考えています。これからも「5、6年生になったら集会委員会に入りたいな。」と思ってもらえるように工夫していきたいと思います。

運動委員会

6年3組

運動委員会は全校のみんなが運動を好きになるように、サッカーやバスケットボールなどいろいろな運動の動画を撮り、全校に運動を届けます。また運動や遊びの大会なども計画して、誠之小を運動化します。

放送委員会

6年2組

放送委員会では、全校朝会での機械操作や、給食をより楽しめるようなお昼の放送を担当しています。また、委員会活動では次回に向け目標を出し合い、みんなの生活がより充実するように工夫しています。

給食委員会

6年2組

給食委員会では、栄養黒板や昼の放送でその日の献立を伝えています。今年度は食事のマナーについての動画も作っています。みんなが気持ちよく給食を食べられるように活動しています。

飼育委員会

6年2組

私達飼育委員会は、ウコッケイの世話をしています。一日一回、ウコッケイ用の餌と給食の残り野菜などをあげます。その時、餌の量を確認しながら、追加であげる量を決めています。

整美委員会

6年3組

整美委員会では、余った紙をリサイクルするため回収と分別をしています。活動を通じて資源の大切さを知りました。今後は、掃除道具の正しい使い方を動画やポスターにまとめていく計画をしています。

JRC 委員会

6年2組

JRC 委員会では、ベルマークの回収、募金活動やそれを呼びかけるポスターを作成しています。ポスターは、たくさんの人に分かりやすく読んでもらうため、字の色や大きさに気を付けています。

12月の行事予定

12月の生活目標　『整理整頓をしよう』

日	曜	行　　　事	こどもひろば
1	木	展覧会②	
2	金	展覧会③	
3	土	展覧会④ 土曜授業公開 4時間授業	
4	日		
5	月	誠之カルタ大会(1･2年生)	
6	火		
7	水		
8	木	歯科講話(1年生) ロングわくわく班活動	
9	金	委員会活動	
10	土		○
11	日		○
12	月	安全指導	
13	火	脊柱側わん症検診（５年生・６年生該当者のみ）	
14	水	全校児童集会（放送）	
15	木	社会科見学（５年生）	
16	金	クラブ活動　学びの教室指導終	
17	土		○
18	日		○
19	月	薬物乱用防止教室(6 年生)	
20	火		
21	水		
22	木	給食終	
23	金	終業式	
24	土		○
25	日		○
26	月	冬季休業日始	
27	火		
28	水	学校閉庁日	
29	木		
30	金		
31	土		
1／1	日	元日	
2	月	休日	
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土	冬季休業日終	
8	日		
9	月	成人の日	
10	火	始業式 身体計測(6年生) 席書会(6年生)	